

岡山県新規就農者育成方針

令和4年4月1日

第1 新規就農者の確保に向けた目標及び課題

(1) 目標

(単位:人)

	目標		直近過去実績						
	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和1年度		
	うち49歳以下	うち49歳以下	うち49歳以下	うち49歳以下	うち49歳以下	うち49歳以下	うち49歳以下		
新規就農者数	335	105	546	109	486	99	395	136	
内訳	新規参入者数	60	40	60	49	69	57	75	65
	新規自営農業就農者数	90	65	93	60	93	42	92	71
	新規雇用就農者数	185	-	393	-	324	-	228	-

(2) 課題

農業就業人口の減少や高齢化の進展等から新規就農者の確保・育成が喫緊の課題であり、新規就農希望者等の円滑な就農と定着に向けて、「就農前」から「就農後」まで切れ目のないサポート体制の一層の充実を図ります。

第2 新規就農者へのサポート内容

就農希望者に向けたサポート宣言	岡山県では「産地型研修」で、農家出身でない方もプロ農家になれるよう、産地が一体となって支援します。農業を始めるならぜひ晴れの国おかやまで！
地域と農業の紹介文	中国地方の東南部に位置する岡山県は、北に雄大な中国山地を配し、中央部には清々しい高原が点在。そして南は瀬戸内海に面し、古来よりその変化に富んだ自然環境と温暖な気候を生かして、多彩な実りを産出する農業県です。意欲ある方の就農チャレンジを岡山県は強力にサポートします。
主な農産物	くだもの王国おかやまの代表選手である「白桃」やマスカットやピオーネなどの「ぶどう」、ブランドいちご「晴莓」。健康・元気なベジタブル野菜では「トマト」、「千両なす」、「アスパラガス」など種類豊富。農薬・化学肥料を一切使用しない「安心のしるし おかやま有機無農薬農産物」もあります。「りんどう」や「スイートピー」等の花もあり、多くの農産物があります。
地域が求める新規就農者	県内で新規就農を目指す就農時年齢が55歳未満の意欲溢れる方を求めています。ただし、市町村によっては年齢等の制限が異なる場合がありますので、ご注意ください。

2 都道府県内のサポート体制

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
就農に向けた相談窓口	(公財)岡山県農林漁業担い手育成財団、岡山県担い手育成総合支援協議会、岡山県農林水産部農産課、(一社)岡山農業会議、岡山県農業協同組合中央会	農業者による指導	JA生産部会、農業者、岡山地方農業士
研修支援	県内各認定研修機関、岡山県立青少年農林文化センター三徳園、岡山県農業大学校	販路支援	管内JA等と連携して支援(産地により条件あり)
技術・経営指導	県内9箇所農業普及指導センター、JA生産部会、農業者	生活に係る支援(住居、子育て等)	県内各市町村の窓口で対応
農地確保支援	農地中間管理機構、市町村の農業委員会	事務局・全体調整	岡山県農林水産部農産課
機械・施設等の確保支援	県内9箇所農業普及指導センター、県内JA、日本政策金融公庫岡山支店、農林中央金庫岡山支店		
資金相談	県内9箇所農業普及指導センター、県内JA、日本政策金融公庫岡山支店、農林中央金庫岡山支店		

3 新規就農者への支援内容

区分	支援項目	支援内容の紹介
就農意欲喚起	○ 就農・移住相談対応、就農相談会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外で年30回程度の相談会を実施しています。 ・岡山県立青少年農林文化センター三徳園で、年3回ほど県内各地域の就農関係担当者及び移住関係部署が集まる大規模な相談会を実施しています。 ・遠方からの相談も受けやすいようにオンライン就農相談会を毎月第4水曜日の午後15時に実施しています。 ・移住に関しても随時、相談会、イベントを実施しています。詳しくは岡山県移住ポータルサイト「おかやま晴れの国ぐらし」をご覧ください。
	○ 就農体験ツアー・インターンシップの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、各地域で現地見学会を実施し、その後、1ヶ月間の農家生活を体験する「農業体験研修」を実施しています。本格的に研修へ入る前に、自分の適性や、農業を実際に知ることができる機会なので、ぜひご参加ください。
	○ ホームページ、パンフレット等での情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「晴れの国岡山で農業をやってみませんか？」は、岡山県に就農を希望する方向けの総合サイトです。就農相談会、現地見学会、新規就農研修制度などの情報のほか、就農までに準備しておくこと、知っておきたいことなどを掲載しています。HPアドレスはhttps://www.okayama-ninaite.com/
	○ その他	
	○ 研修の実施(生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県では、独立・自営就農を目指す場合、農家出身でない方もプロ農家になれるよう、産地一体型研修制度を設けています。ご自分が希望する品目及び産地にて、1ヶ月間の農家生活を体験する「農業体験研修」を受けたのち、2年間の本格的な実務研修を経て、その産地で就農をします。研修中だけでなく、就農後も産地で引き続きサポートすることでスムーズな就農が可能です。
	○ 就農に向けたサポート(就農相談窓口の設置、就農先の紹介、マッチング等)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県では産地一体型研修を設けているので、研修した産地が就農先となります。ご自身で就農する産地を探す必要がないのが大きなメリットです。

就農前の支援		農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	
		販路確保、販路開拓に向けた支援	
	○	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等)	・各市町村で独自の支援制度があります。岡山県移住ポータルサイト「おかやま晴れの国ぐらし」のHPIに各市町村の生活に関わる支援制度を掲載しています。
	○	その他	・1ヶ月間の農家生活を体験する「農業体験研修」を受けた者に対し、研修費として5万円を支給する「農業体験研修費」制度があります。
就農後の定着・経営発展に向けた支援	○	就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	・県内9箇所の各農業普及指導センターで新規就農者に対して巡回指導を実施し、定期的に技術向上や経営等の研修会を開催しています。
	○	規模拡大に向けた農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	・県内9箇所農業普及指導センター、県内JA、日本政策金融公庫岡山支店、農林中央金庫岡山支店(ただし資金には要件有り)
		販路確保、販路開拓に向けた支援	
	○	地元農家や地域住民との交流促進の取組	・県内の各農業普及指導センターで新規就農者を対象にした交流会を開催し、新規就農者同士の親睦を深め、情報交換ができる場を提供しています。
	○	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、子育て支援等)	・各市町村で独自の支援制度があります。岡山県移住ポータルサイト「おかやま晴れの国ぐらし」のHPIに各市町村の生活に関わる支援制度を掲載しています。
		その他	

4 新規就農者育成総合対策実施要綱(令和4年3月29日付3経営第3142号 農林水産事務次官依命通知)別記1の別表1の2に基づく都道府県加算ポイントについて

	確認項目	点数
①	岡山県の認める研修機関で就農のための研修(合計1,200時間以上)を修了している。	3
②	認定農業者である親や第三者等から経営の全部または一部を継承している。あるいは申請年度末までに継承することが確実である。	2
③	2に該当しないものの、申請者の経営における主要な品目が、県の振興方針等に記載された推進品目である。	2
④	2及び3に該当しないものの、申請者の経営における主要な品目が、主な営農地域の所在する市町村における振興方針等に記載された推進品目である。	1

- ・「主要な品目」とは、当該農業者の経営品目の中で、農業所得が最大となる品目とする。
- ・項目番号ごとに算定した申請者毎の付与ポイントの合計を国から配分された都道府県ポイントの範囲内で付与する。
- ・申請者毎の付与ポイントの合計が、都道府県ポイントを超える場合は、項目番号1による算定を優先するとともに、各項目番号毎の付与ポイントを調整する。